

【単元名】「調べたことを報告しよう」〔生活を見つめて〕(全15時間)

【単元の目標】

< 関心・意欲・態度 >

- ・自分で決めたテーマに沿って意欲的に「生活白書」作りをすることができる。
- ・友達の発表に興味を持ち、進んで感想や意見を発表しようとする。

< 話すこと・聞くこと >

- ・目的や内容に即して正しく伝わるように筋道を立てて話すことができる。(ア)
- ・取材では、要点をメモすることができる。(イ)

< 書くこと >

- ・身近な問題について、方法を工夫して調べる。(イ)
- ・調べて分かったことと考えを区別し、段落と段落の続き方を注意して書く。(エ)

< 読むこと >

- ・リード文を読み、白書の書き方を正しくとらえることができる。(イ)

< 言語事項 >

- ・句読点を適切に打ち、また、段落のはじめなどは、行を改めて書く。<ウ(イ)>
- ・文章全体における段落の役割を理解する。<オ(イ)>

【5つの言語意識】

相手意識	目的意識	場面・状況意識	方法意識	評価意識
クラスみんなに	自分たちの暮らしについて調べたことを提言し、暮らしを見つめ話し合う。	テーマ・方法を選んで調べ学習を進める。	テーマ別に小項目を決める。インタビュー・アンケートなどで調べたことを学級の仲間に資料を提示しながら発表する。	大事なことの要点をまとめて分かりやすく伝えている。聞いている人によく分かる話し方で、図や資料を用いて話している。自分の考えや友達相互の考えを比較して聞き、感想を述べている。

【単元指導計画】

時	ねらい	主な学習活動	評価規準	子どものつまずきに応じた指導援助
1	全文を読み、大まかな学習の流れを理解し、白書作りに見通しを持つことができる。 < 学級TT >	1. 白書についてのイメージを膨らませ、どんな学習をするのかを知る。 白書作りの大まかな計画を立てよう。 2. 全文を読み、大まかな学習の流れを知る。 3. リード文を読み、単元の出口「新聞を作ってコンクールを開く」という見通しを持つ。 自分の暮らしを見つめる白書作りに見通しを持った。	< 関心・意欲 > 学習の進め方を理解し、自分の白書作りに見通しを持つ。	つまずきの様相 学習に見通しが持てない。 評価 読み取り・発言の様子 指導・援助 < 補充 > 学習の進め方を示して見通しを持たせる。 < 発展 > どんなテーマで取り組んでみたいかを考えさせる。
2	生活の中で疑問に思ったことを交流し、自分の暮らしを見つめ直すテーマを決めることができる。 < 学級TT >	1. ワークシートをもとに、自分の生活を振り返る。 自分の生活を見つめ直すために、調べたいテーマを決めよう。 2. 生活の中で疑問に思っていることを交流する。 3. 出されたテーマを類別し、自分が調べるテーマ一つ決め、課題別グループを作る。 自分の暮らしを見つめるためのテーマが決まった。	< 関心・意欲 > 白書作りに関心を持ち、進んでテーマを決めようとしている。	つまずきの様相 自分のテーマが決まらない。 評価 振り返り・テーマ設定の様子 指導・援助 < 補充 > 具体的なテーマを示し、参考にさせる。 < 発展 > 自分の生活ぶりから、関心のあることをいくつか考えその中からテーマを決めるようにする。
3	生活の中の疑問を解決するために、テーマについて調べたい内容の小項目や調べ方を話し合っ決めてすることができる。 < 課題別 少人数集団 >	1. 白書の例文から、小項目があることを確かめる。 調べたいテーマが解決できるような小項目や調べ方を決めよう。 2. 調べたいことの小項目を考える。 3. テーマ別グループで考えを交流し、必要な小項目を取り上げる。 4. 個人が調べる項目や、調べ方を決める。 自分の生活を見つめることに役立つ小項目や調べ方が決まった。	< 関心・意欲 > 仲間との交流を通して、それぞれのテーマを追究する小項目や調べ方を選んで決めている。	つまずきの様相 調べたいことの小項目の見当がつかない。 評価 ワークシート・交流の様子 指導・援助 < 補充 > 疑問に思う子tびゃ調べたいことを明確にさせる。 友達の考えを参考にさせる。 < 発展 > 調べたい根拠までを分かりやすく説明させる。
4 5	それぞれのテーマに沿った小項目をもとに、質問内容を考え、知りたいことがつかめる取材用紙を作ることができる。 < 課題別 少人数集団 >	1. 教材文を読み、アンケート用紙のポイントを確認する。 アンケート用紙を作る時のポイントを生かして、知りたいことがはっきり分かる取材用紙を作ろう。 2. アンケートしたいことを考える。 3. 同じ項目の仲間で、質問内容を交流し、よりよい質問を作りあげる。 4. 同じテーマのグループの質問を1枚の用紙にまとめる。 生活を見つめるのに必要な取材用紙ができた。	< 書くこと > アンケートを取る時のポイントをつかんで、知りたいことがはっきりつかめる取材用紙を書いている。	つまずきの様相 知りたいことがつかめる質問文が作れない。 評価 記述の様子 指導・援助 < 補充 > ポイントを確認させる。 仲間の考えを参考にさせる。 < 発展 > 友達に適切なアドバイスを送る。

6 7	アンケートを回収し、分かったことをグループで話し合い、読み手に分かりやすい資料を作ることができる。 <課題別 少人数集団>	1. アンケートを回収して、集計する。 アンケートの結果と分かったことをまとめ、調べたことが一目で分かる表やグラフを作ろう。 2. 調査結果と分かったことをグループで話し合う。 3. 分かりやすい表やグラフを作成する。 4. 意外だったことについて、調べ方を決める。(分かったことは、メモしておく) 調べて分かったことを読み手を意識して、分かりやすく表やグラフにまとめることができた。	<書くこと> 調べて分かったことを読み手を意識して、分かりやすく表やグラフに表現している。	つまずきの様相 結果を表やグラフに表せない。 評価 記述の様子 指導・援助 <補充> ・表やグラフの見本の提示 ・項目や目盛りの打ち方を示す。 ・補助プリント <発展> ・算数や社会科での学習を生かして自分なりに表現する。				
8	伝えたいことがはっきり分かる報告文の組み立てを理解することができる。 <習熟度別 少人数集団>	1. 教科書の報告文章を読み、課題を確認する。 伝えたいことがはっきり分かる報告文を書くための組み立てを学ぼう。 2. 教科書の例文を通読する。 3. 組み立てを理解する。 <table border="1" data-bbox="598 736 1270 979"> <tr> <td>かがやきコース</td> <td>はばたきコース</td> </tr> <tr> <td>キーワードを手がかりに組み立てをつかむ。文章のどこにあるか確認しながら進める。</td> <td>キーワードを手がかりに組み立てをつかむ。さらに追究したいと思ったこと・その書き方をつかみ、報告書に深まりがあることを理解する。</td> </tr> </table> 伝えたいことがはっきり分かる報告書の組み立てが分かった。	かがやきコース	はばたきコース	キーワードを手がかりに組み立てをつかむ。文章のどこにあるか確認しながら進める。	キーワードを手がかりに組み立てをつかむ。さらに追究したいと思ったこと・その書き方をつかみ、報告書に深まりがあることを理解する。	<読むこと> 教科書の例文の組み立てを理解している	つまずきの様相 例文から、組み立てが読み取れない。 評価 記述・発言の様子 指導・援助 <補充> キーワードを示し、着目させる。 <発展> ・さらに追究したこと・そのまとめ方を理解する。
かがやきコース	はばたきコース							
キーワードを手がかりに組み立てをつかむ。文章のどこにあるか確認しながら進める。	キーワードを手がかりに組み立てをつかむ。さらに追究したいと思ったこと・その書き方をつかみ、報告書に深まりがあることを理解する。							
9	伝えたいことがはっきり分かる報告文の組み立てメモを書くことができる。 <習熟度別 少人数集団>	1. 前時学習した報告書の組み立てを確認し、今日の課題を決める。 伝えたいことがはっきり分かる報告文を書くための組み立てメモを書こう。 2. 分かりやすく伝えるために、必要な情報を選択し、組み立てメモを書く。 <table border="1" data-bbox="598 1350 1270 1528"> <tr> <td>かがやきコース</td> <td>はばたきコース</td> </tr> <tr> <td>キーワードを手がかりに組み立てメモを書く。短い言葉で書き進める。</td> <td>キーワードを手がかりに組み立てメモを書く。さらに追究したことを書き加える。</td> </tr> </table> 3. 事柄ごとに分けて書いてあるかを相互評価する。 4. 相互評価をもとに書き直す。 報告書を書くための組み立てメモができた。	かがやきコース	はばたきコース	キーワードを手がかりに組み立てメモを書く。短い言葉で書き進める。	キーワードを手がかりに組み立てメモを書く。さらに追究したことを書き加える。	<書くこと> 伝えたいことがはっきり分かる報告文の組み立てメモを書いている。	つまずきの様相 組み立てメモに大事な言葉が書けない。 評価 メモの記述の様子 指導・援助 <補充> キーワードにそって、大事な言葉を選ばせる。 <発展> ・調べた結果から、意外だったことについてさらに追究した結果もメモする。
かがやきコース	はばたきコース							
キーワードを手がかりに組み立てメモを書く。短い言葉で書き進める。	キーワードを手がかりに組み立てメモを書く。さらに追究したことを書き加える。							
10 11	組み立てメモをもとに、調べて分かったことと考えたことを区別し、事柄ごとに段落を意識して報告文を書くことができる。 <習熟度別 少人数集団>	1. 今日の課題を確認する。 組み立てメモをもとに、伝えたいことがはっきり分かる報告文を書こう。 2. 組み立てメモをもとに、事柄ごとに分けて報告文を書く。 <table border="1" data-bbox="598 1899 1270 2151"> <tr> <td>かがやきコース</td> <td>はばたきコース</td> </tr> <tr> <td>組み立てメモを手がかりに、事柄ごとに段落を意識して体言止めで書き進める。</td> <td>組み立てメモを手がかりに、事柄ごとに段落を意識して体言止めで書き進める。さらに追究したことがはっきり分かるように書く。</td> </tr> </table> 3. 事柄ごとに分けて書いてあるかを相互評価する。 4. 相互評価をもとに書き直す。 伝えたいことがはっきり分かる報告文が書けた。	かがやきコース	はばたきコース	組み立てメモを手がかりに、事柄ごとに段落を意識して体言止めで書き進める。	組み立てメモを手がかりに、事柄ごとに段落を意識して体言止めで書き進める。さらに追究したことがはっきり分かるように書く。	<書くこと> 組み立てメモをもとに調べて分かったことと考えたことを区別し、事柄ごとに段落を意識して報告文を書いている。	つまずきの様相 事柄ごとに分かりやすく文章化できない。 評価 記述の様子 指導・援助 補充 <補充> ・文の書き出しと語尾を示す。 ・書き出しを示したワークを使用する。 <発展> ・接続語の使い方 ・追究したことがはっきり分かる書き出しと語尾を示す。
かがやきコース	はばたきコース							
組み立てメモを手がかりに、事柄ごとに段落を意識して体言止めで書き進める。	組み立てメモを手がかりに、事柄ごとに段落を意識して体言止めで書き進める。さらに追究したことがはっきり分かるように書く。							
12	聞き手を意識して、内容が正しく伝わるように筋道を立てて話すことができるようにする。 <課題別 少人数集団>	1. 今日の課題を確認する。 報告文をもとに、まとめた内容が聞き手に分かりやすく伝わる話し方を身につけよう。 2. 話し方を相互評価する。 3. 伝えたいことがよりはっきり伝わる話し方を練習する。 4. 話し方の変容ぶりを相互評価する。 伝えたいことがはっきり伝わる話し方ができるようになった。	<話すこと・聞くこと書くこと> 聞き手を意識して、内容が正しく伝わるように筋道を立てて話そうとしている。	つまずきの様相 聞き手を意識して話せない。 評価 練習の様子 指導・援助 <補充> ・事柄を示す言葉を意識させる。 ・一文を意識して話すように促す。 <発展> ・資料の示し方を考えさせる。				

13	<p>グループの発表としての流れを決め、聞き手を意識して、内容が正しく伝わるように筋道を立てて話すことができるようにする。</p> <p><課題別 少人数集団></p>	<p>1. グループ発表会に見通しを持つ。</p> <p>グループ発表会に向けて、発表の流れを決めて練習しよう。</p> <p>2. 概要・調べたことを報告する順番を話し合って決める。</p> <p>3. お互いに発表を聞きあい、聞き手を意識した話し方を練習する。</p> <p>聞き手を意識した話し方ができるようになった。</p>	<p><話すこと・聞くこと></p> <p>グループの発表として、話し方を話し合い、内容が正しく伝わるように発表の練習をしている。</p>	<p>つまずきの様相 話す順番が決めれない。</p> <p>評価 話し合いの様子</p> <p>指導・援助 <補充> 教科書を手がかりに、順番を決めさせる。</p> <p><発展> 資料の示し方を考えて発表練習をする。</p>
14 15	<p>生活白書発表会を開き、ポスターセッションで説明を聞き、お互いのよさを見つけたり、自分のくらしを振り返り感想を持ったりする。</p> <p><学級TT></p>	<p>1. 発表会のめあてを確認する。</p> <p>互いの発表を聞きあい、自分たちのくらしを見つめなおそう。</p> <p>2. 前半の子が、コーナーへ出かけて発表を聞き、評価カードに記入して渡す。</p> <p>3. 前半と後半で入れ代わって活動する。</p> <p>4. 友達の発表を自分の経験や調べたことと比較して聞き、感想や質問を持ち、生活を見つめ直すメモを書く。</p> <p>5. 評価カードをもとに、自分たちの発表のよさを確かめる。</p> <p>発表会を通して、自分のくらしを見つめ直すことができた。</p>	<p><話すこと・聞くこと></p> <p>主張点をはっきり伝える。</p> <p>・自分の経験や調べたことと比較しながら聞き、感想や質問を持つ。</p>	<p>つまずきの様相 聞き手を意識して話せない。自分の経験や調べたことと比較しながら聞くことができない。</p> <p>評価 発表の様子 評価カード記述の様子</p> <p>指導・援助 <補充> 評価カードの内容を確認する。 聞き手を意識した話し方のポイントを確認する。</p> <p><発展> 生活を見つめ直すメモをもとに、感想を言う。</p>